

ゆに 議会だより

第150号

平成30年8月1日



つなげ未来へのバトン～キラリと輝く由仁っ子たち



- 2 P ～ 第2回定例会のあらまし
- 3 P ～ 補正予算
- 4 P ～ 行政報告
- 5 P ～ 教育行政報告、第4回臨時会
- 6 P ～ 一般質問
- 9 P ～ 研修会報告、議会の話
- 10P ～ 議会のうごき



表紙の写真「町内の運動会の様子」～ 上段 左/由仁小学校 右/由仁幼稚園 中段 左/由仁保育園 右/由仁小学校 下段 左/由仁小学校 右/三川保育園

補正予算

平成 30 年度各会計補正予算は、原案のとおり可決しました。(単位：千円)

会 計 名		補正前の額	補正後の額	補正額計
一 般 会 計		4,951,789	5,011,494	59,705
		(主な内容)		
		移住・定住・交流推進支援事業補助金	1,500	
		財政調整基金積立金	45,963	
		企業誘致関係経費	731	
		介護保険事業特別会計繰出金	2,508	
		介護老人保健施設事業特別会計繰出金	841	
		町道補修工事	1,300	
		川端開拓線法面復旧工事	2,344	
		電柱等移設補償費	4,100	
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	1,042,282	1,095,125	52,843
		(主な内容)		
		療養給付費負担金	3,000	
		高額療養費負担金	2,000	
		財政調整基金積立金	23,981	
		国庫支出金超過交付償還金	23,775	
	介護保険事業特別会計	698,775	701,283	2,508
		(主な内容)		
		介護保険事務処理システム改修	2,489	
	国民健康保険由仁町立診療所特別会計	423,085	425,847	2,762
		(主な内容)		
		特殊浴槽（取替工事費含む。）	2,107	
		C T 画像診断委託料	575	
	介護老人保健施設事業特別会計	101,549	102,390	841
		(主な内容)		
		特殊浴槽（取替工事費含む。）	841	



議会議員として15年以上その職にあった功績に対し、北海道町村議会議長会から表彰状の授与があり、熊林議長から吉田副議長に伝達されました。

北海道町村議会 議長会表彰

平成 30 年 第 2 回定例会

平成 30 年第 2 回定例会は 6 月 14 日に召集され、会期を 15 日までの 2 日間として開会しました。

諸般の報告（会務、平成 29 年度由仁町一般会計繰越明許費繰越計算書）に続いて行政報告が行われ、一般質問は 2 名の議員が 3 件の質問を行いました。

また、条例の一部改正案 4 件、平成 30 年度各会計補正予算案 5 件、財産の取得案 1 件、人事案 3 件、会議案 1 件、意見書案 1 件について慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

条例の一部改正

- やつぱり由仁定住応援金の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 条例の失効に係る経過措置を加える改正が行われました。
- 由仁町税条例等の一部を改正する条例の制定
- 地方税法等の一部改正に伴い、条例の改正が行われました。
- 由仁町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- 地方税法施行令の一部改正に伴い、条例の改正が行われました。
- 由仁町地域福祉支援事業条例の一部を改正する条例の制定
- 介護保険法の改正に準じ、条例の一部改正が行われました。

財産の取得

- 取得する財産 除雪トラック（10 トンダンプ）
- 契約金額 3,120 万 2,450 円
- 契約の相手方 U D トラックス北海道株式会社

人事案

- 人権擁護委員候補者の推薦
- 山宮 輝美氏（三川泉町）、岩崎 俊博氏（岩内）の再任および大居 寛氏（本町）を新任として推薦することに同意しました。

意見書

- 北海道主要農作物種子条例の制定に関する意見書
- 当該意見書を採択し、北海道知事に提出しました。

4 主な工事の進捗状況について

建築事業の「由仁町公営住宅あけぼの団地2号棟建替工事」は、5月28日に着工し、6月14日現在、基礎工事の作業中であり、本年10月26日に完成の予定となっています。

教育行政報告（教育長 田中 宣行）

1 町内小中学校の状況について

はじめに、5月1日現在の小中学校の学級数および児童生徒数について、由仁小学校は、特別支援学級4学級を含めて10学級190名、由仁中学校は、特別支援学級2学級を含めて5学級117名となっています。

小中学校全体では、15学級307名となり、昨年度と比較しますと、児童生徒数で18名の減、学級数では2学級の減となっています。

次に、小中学校の教職員数については、校長、教頭は4名、教諭25名、養護教諭2名、栄養教諭1名、事務職員2名、時間講師1名のほか、中学校美術科における南幌中学校との兼務教諭1名の計36名で、昨年度と同数の教員配置となっています。

このほか、道から派遣を受けている非常勤のスクールカウンセラーが1名、町単費でALTが2名、介助員2名、事務補が2名、特別支援教育支援員が4名、公務補3名の計14名の職員がそれぞれ勤務しています。

第4回臨時会

（平成30年5月25日）

専決処分4件について承認し、議案3件について原案のとおり可決しました。

◎専決処分した事件

- ・平成29年度由仁町一般会計補正予算
- ・由仁町税条例の一部を改正する条例の制定
- ・由仁町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
- ・由仁町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する条例及び由仁町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する条例の一部を改正する条例の制定

◎訴えの提起（補助金返還請求訴訟）

◎平成30年度由仁町一般会計補正予算

◎由仁町公営住宅あけぼの団地2号棟建替工事請負契約の締結

契約金額 7,584万8,400円

契約の相手方 株式会社伊藤工務店

行政報告（町長 松村 諭）

1 ふるさと寄附金の受付状況について

今年度の寄附金は、受付ベースで6月1日現在、657件、1,552万円となっており、昨年の同時期と比べると件数は611件、金額は1,095万円の減となっています。

減少の要因として、当町は総務大臣通知に基づき返礼品の割合を3割に近づける見直しを行いました。全国的に見るとまだ高割合の返礼品を用意している団体があり、見直しを行った自治体と行っていない自治体で寄附金に大きな差が生じている状況になっています。

この状況を是正してもらうよう北海道へは意見を申し立てますが、今後も当町へ更なる寄附金をしていただけるようPRに努めていきます。

2 GTS協同組合北海道出張所の設置について

5月31日、愛知県名古屋市において、GTS協同組合第12回通常総会が開催され、GTS協同組合北海道出張所の設置場所として由仁町が承認されました。

当町からも総会の会場へ出向き、出張所開設のお礼と併せて、ふるさと納税PRと企業誘致の宣伝をしてきました。

組合は愛知県知立市に所在し、外国人技能研修生の受け入れや国の助成金を活用し、中小企業の社員教育を目的に各種教育事業を実施している団体で、同じく愛知県の日進工業株式会社が購入した旧三川小学校に北海道出張所を設置する予定です。

今後の予定としては、このエリアにどれだけ外国人技能研修生の需要があるかにもよりますが、職員を常駐し、北海道出張所として由仁町を拠点に事業を展開していく予定と聞いています。

3 由仁町立診療所並びに介護老人保健施設の運営について

3月1日から診療所並びに介護老人保健施設として新たな施設運営を開始し、所長の齋藤医師の定年により、4月からは前副所長の小端医師が所長として、また、新たに総合診療医の島田医師が着任し、新体制での運営がスタートしています。

介護老人保健施設の入所者は、6月12日現在10名となっていますが、まだ入所決定に至っていない申し込みや相談も数件あり、今年度の目標としている定員の50%に近づいています。

また、診療所では、入院患者数は15名前後で推移をしています。さらに、在宅医療の中心となる訪問診療においては、当初の予定よりも早く取り組むことができ、現在3名が利用しています。

今後も、在宅系の介護サービス事業を取り入れるなど、入退院支援も積極的に進めながら、経営改善に努めていきます。

町 政 を 問 う

大竹議員

後継者支援制度の取り組みについて

町 長

商工会をはじめとした関係機関との連携強化を図っていく



大竹議員

当 町における高齢化率は40%となり人口減少も続いています。農業において後継者不足の問題は深刻で、商店においても店をたたみ商店街と言えない状況になってきています。

後継者支援の問題では国や道の制度もありますが、制約も多く一層の充実を求める声も少なくありません。道東のある町では、国や道の支援制度とあわせ農業・商業・漁業後継者に対して3年間という期限付きではありません。

町長答弁

農 業後継者支援について
は、昨年の町議会第3回定例会で大竹議員の質問にお答えしており、その際、国などの各種支援制度の活用を推進していくことや、現状においては既存の後継者育成制度に上乗せをして、町単独での財政的な支援を行うことは困難であるという考え方についての答弁をさせていただいています。

すが支援制度を設け、都市部に就職を考えていた子供がウターンをして後を継ぐケースも増え、人口減少に歯止めがかかり大変喜ばれているという話も聞いています。農業や商業に対する後継者支援制度に対する今後の支援の取り組みについて町長の見解を伺います。

ここでは、商業における後継者対策について申し上げます。

由仁町商工会によりまずと、会員数の減少や経営者の高齢化とともに、会員の約8割が「後継者がいない」あるいは「決まっていない」という実情にあります。

また、創業塾の開催や若手後継者等育成事業として、青年部の活動支援をはじめ、後継者や若手従業員が中小企業大学校で人材支援事業を受講する際の助成などを実施しています。

さらには、新規創業対策として、商工会にワンストップ窓口を設け、町・金融機関と連携し、相談者に対し、創業に関する情報提供や支援機関との調整を図る体制を構築しています。

町としましては、これら商工会の行う後継者育成の取組を支援するとともに、事業承継や新規創業などの後継者対策について、国等の各種支援制度の活用を促し、商工会・金融機関・由仁町移住交流支援センターなど関係機関との連携強化を図っていきます。

議会を傍聴してみませんか！

次の定例会は、9月に開会します。

手続は、備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

議会の開会日については防災無線でお知らせしています。

大竹議員

ゆめつく館機能の充実強化について

教育長

民間事業者の能力と活力を活用し、サービス向上のため最適な運営方法を検討していく

大竹議員

ゆめつく館は町民の社会教育の拠点として大切な役割をはたしています。

その一方で利用者の方たちからは図書館機能の充実を求める声や郷土資料館としてふるりの歴史を調査・研究・発掘・保存・展示・伝承等を行って行く上で、学芸員もしくは専門職員の配置をしてほしいとの声。さらには、道内市町村史や郷土資料の系統的一括管理などその充実強化を求める声も寄せられています。今後、ゆめつく館機能の充実強化についてどのように考えているのか、教育長の見解を伺います。

教育長答弁

ゆめつく館は、開館以来地域の発展を支える情報の拠点として、また、町民の生涯学習活動の支援を担う施設として、資料の収集や保存・提供を使命としています。

なかでも、町史や記念誌などの郷土資料は、由仁町の歴史を後世に残すために重要な役割を果たすものであり、積極的に収集・保存していくべきであると考えています。

現状においては、由仁町に関する資料を収集している旨を、町のホームページや館内の掲示などで知らされており、町民の皆様との協力を得て、充実を図っており、収集した資料は図書館システムに登録し、「教育」や「行政資料」などの主題ごとに分類

して、町民に分かりやすいよう閲覧に供しています。

また、郷土資料コーナーに展示している農機具などは、郷土史研究会をはじめ、地域の方々の協力により展示・保存し、児童の調べ学習などに役立てられています。

今後、町の図書館としての役割を踏まえた資料構築を軸に、要望のある資料等については、全国の図書館との相互貸借サービスを活用しながら提供に努めていきます。

なお、教育委員会では、ゆめつく館の管理運営について、本年度の教育行政執行方針の中で「指定管理者制度などアウトソーシングを積極的に検討する」と述べていますので、民間事業者の能力と活力を活用することにより、町民サービスの向上を図るため、図書館資料館として最適な運営方法を検討していきます。



部落史などの貴重な資料



メインホールのマンモスとオオツノシカの実物大模型

ことば辞典

図書の相互貸借サービス
公立図書館は、自館での図書・資料の整備充実に努めることを基本としているが、必要な図書などが自館になく、また容易に入手できない場合、互恵の精神のもと、所有する図書館と相互に貸借し、利用者に提供する制度である。

公立図書館における相互貸借・協力貸出は、重要なサービスのひとつである。

由仁町奨学金貸与条例について

国の動向や当町の財政状況も踏まえながら、
町の支援策の必要性を検討していく

早坂議員

平

成28年度における北海道在住高校生の4年制大学、短期大学、専門学校の合計進学率は、65.4%で、今後も微増傾向が見込まれています。

進学にあたっては、どの進路にしても家庭における経済的負担は相当に大きなものですが、我が子の希望する進路と夢を叶えてあげようとするのが親心であると考えます。

奨学金の代表的なものに日本学生支援機構の制度があります

が、貸与要件によつては期待するほど経済的負担の軽減には至っていません。

由仁町奨学金貸与条例では、平成19年度をもつて新たな貸与を打ち切りとしています。由仁町で生まれた子供の学ぶ意欲を最大限に尊重し、町としても未来への人材投資と家庭の経済支援をすべく奨学金の貸与再開を検討すべきと考えます。

町財政は厳しい状況にあることは十分承知していますが、町長の見解を伺います。

町長答弁

現

在は、教育環境の充実や多様化により、多くの子どもが自ら希望する学校で学習機会を得やすい状況にあります。一方で家庭の経済事情など

により、その機会を断念せざるを得ないことがないよう、対策を講ずることは大変重要なことです。

由仁町の奨学金制度は、昭和41年、篤志家からの寄附を財源にスタートしたところですが、時代の変化に適応して、国や各種学校独自の奨学制度が充実してきたこと、さらに当町が取り組んだ行財政改革においても、行財政改革推進委員会からの意見や奨学審議会の答申などを踏まえ、平成20年度から新規貸与を行わないこととしました。

また、「日本学生支援機構」、前身は「日本育英会」ですが、奨学金制度の代表的なものとして多くの学生が利用しているものと認識しています。

この日本学生支援機構の奨学金は、現在、事実上奨学金を希望すれば、誰もが貸与を受けられるようになったと言われていますが、以前は審査基準なども厳しく、利用できる人が限られている時代でもありました。

また、奨学金の額も、現在では最高で月額12万円の貸与を受けることができ、卒業後における

る返還設計を欠かすことはできませんが、在学時の学費・生活費の負担軽減を図ることができればものと考えています。

いずれにしても、今月、経済財政諮問会議が公表しました「経済財政運営と改革の基本方針2018」、いわゆる骨太方針（原案）において、低所得者を対象とした大学授業料の減免や、先行実施されています給付型奨学金の拡大が取り上げられていますので、これらの動向や当町の財政状況も踏まえながら、今後、町としてどのような支援が必要なのか考えていきます。

ことば辞典

独立行政法人日本学生支援機構
平成16年、国の学生支援事業を展開する機関として創設され、奨学金貸与、留学生支援、学生生活支援を通して、次代を担う豊かな人間性を備えた優れた人材育成と国際交流などの推進を図っている。

特に奨学金貸与事業は、貸与人員約134万人、年間事業費約1兆1千億円もの規模に上り、社会を支える重要なインフラとなっている。

空知町村議会議長会主催
議員研修会

空知町村議会議長会主催の議員研修会が、7月20日、由仁町文化交流館「ふれーる」で開催されました。

元佐賀県武雄市長で、現在、まちづくりの株式会社である樋渡社中のCEOの樋渡啓祐氏から『これからの地方行政について』これからの公共施設のあり方』と題して、公共施設の有効活用や民間管理等の先進事例を踏まえ、将来に向けたこれからの公共施設のあり方についての講演が行われました。



空知議員研修会

よひんを由仁町へ！

6月29日に東川町議会の議員8名が来町し、「町民プールの運営状況」について研修を行いました。

7月4日に妹背牛町議会の議員12名が来町し、「デマンドタクシーの取り組み」について研修を行いました。

7月11日に山形県大石田町議会の議員10名が来町し、「移住交流支援センターの活

動内容」および「空き家・空き地対策」について研修を行いました。

役場の担当職員などがテーマについての説明を行なった後、質疑応答を行い、お互いに情報交換を行いました。

今後も他市町村との交流を行い、お互いに研鑽するとともに由仁町をPRしていきたいと思ひます。



東川町議会



妹背牛町議会



山形県大石田町議会

議会のうごき

4月

29日 由仁町を日本一桜のまちにする会植樹祭
(体験農園 議長)

5月

12日 由仁町ゲートボール協会春季大会
(東三川 議長)
17日 三役会議 (正副議長室 議長ほか)
〃日 平成30年度由仁町商工会通常総会
(商工会 議長)
21日 全員協議会 (委員会室 議員)
25日 由仁町議会第4回臨時会 (議場 議員)
27～29日 平成30年度町村議会議長・副議長研修会
(東京都 議長)
27日 第七師団創隊63周年、東千歳駐屯地創立64周年記念行事
(千歳市 副議長)

6月

4日 産業厚生常任委員会 (委員会室 議員)
10日 平成30年度由仁消防団春季合同演習
(旧由仁小学校グラウンド 議長ほか)
11日 五役会議 (正副議長室 議長ほか)
〃日 議会運営委員会 (委員会室 委員)
〃日 全員協議会 (委員会室 議員)
12日 北海道町村議会議長会定期総会・研修会
(札幌市 議長)
14日 北海道日本ハムファイターズ由仁後援会設立
総会 (由仁町内 議長)
14・15日 由仁町議会第2回定例会 (議場 議員)
15日 議会活性化・まちづくり等特別委員会
(委員会室 委員)

15日 議会広報特別委員会 (委員会室 委員)
17日 ボランティア活動団体連絡会親睦交流パーク
ゴルフ大会 (ゆにっP A 議長ほか)
25日 栗山地区警察官友の会会員総会
(栗山町 議長)
27日 南空知消防組合第2回臨時会
(栗山町 組合議員)
29日 空知教育センター組合第1回臨時会
(滝川市 組合議員)
〃日 東川町議会行政視察 (委員会室 議長)

7月

3日 北海道町村議会議長会議員研修会
(札幌市 議員)
4日 妹背牛町議会行政視察
(委員会室 議長、産業厚生常任委員長)
8日 北海道消防協会南空知分会並びに南空知消防
組合主催消防演習
(旧由仁小学校グラウンド 副議長ほか)
9日 議会活性化・まちづくり等特別委員会
(委員会室 委員)
〃日 議会広報特別委員会 (委員会室 委員)
11日 山形県大石田町議会行政視察
(委員会室 議長)
14日 北恵庭駐屯地創立68周年記念行事
(恵庭市 議長)
17～19日 南空知ふるさと市町村圏組合行政視察
(島根県 組合議員)
20日 空知町村議会議長会議員研修会
(由仁町 議員)
29日 由仁町夏まつり開祭式 (げんき館前 議長)



■編集／議会広報特別委員会

大竹 登・早坂 寿博
浮田 孝雄・後藤 篤人
羽賀 直文

文責 委員 浮田 孝雄

早いもので私たちの任期も一年を切り
ます。
この三年“基礎自治体”の有り様を十
名の議員が真剣に討議してまいりました。
町長を先頭に若い力を結集し“医療”“教
育”“雇用”の有り様について整備をし
ました。今後の課題として“財政”があ
ります。
“既存のインフラの整理”“料の整理”“税
の整理”など難題を抱えています。
一市四町の動静を見据えながら“我が
町由仁町の更なる立起”を推進してい
きたいと考えます。
“小さくてもキラリと光る由仁町を!!”

編集後記